

あなたの「やってみたい!」を応援する広報誌

川崎の社会福祉



僕らに
できることが
きっとある



No.606

2024.10
AUTUMN

特集

能登の子どもたちへ「笑顔」を
高校生・大学生ボランティアバス

For a Smile



川崎市社協キャラクター
ななふく

 川崎市社会福祉協議会 (通称:川崎市社協)

届けよう!
若いチカラと
みんなの想い

能登の子どもたちに「笑顔」を! 高校生・大学生 ボランティアバス

1月の地震発生から半年以上が過ぎた今も、
被害のつめ跡が残る能登半島。
この夏、川崎市在住・在学の学生がボランティアバスを利用し、
能登を訪問しました。



2024年
7月・9月
実施

「子どもの遊べる場所がない」 被災地のニーズに応えるために

「被災地を支えるボランティア活動をしたい！」
そんな気持ちを抱く市民をアシストする事業が社協の「ボランティアバス」です。市民の皆さんが安心・安全に災害ボランティアに参加できる機会を提供するとともに、現地のニーズに合わせた支援活動をコーディネートしています。2024年7月・9月には、被災地支援や教育活動に興味を持つ市内高校・大学生62名とともに石川県・能登半島を訪問。金沢大学 鈴木准教授にご協力いただき、震災により「あそび場」を失った能登の子どもたちに、笑顔を届ける活動を実施しました。



被災地から
メッセージ

被災児童・保護者の心のケアを

震災から半年以上が経ちましたが、まだまだ能登の子どもたちの「日常」は戻っていません。多くの子どもたちが、いつも遊んでいた場所を失い、いつもと違う学校や家庭で、震災対応に奔走する大人たちの影で我慢しながら過ごしています。今こそ、子どもたちが周りを気にせず遊びつくすことができる居場所が必要です。また、そこには一緒にワクワクしてくれる他者の存在が不可欠です。ぜひまた遊びに来てください。



金沢大学 人間社会
研究域 学校教育系
准教授 鈴木 瞬

ななふくMEMO

● 発災時に力を発揮! 社協の地域福祉活動

私たち社協は、住民同士のつながり、地域資源の発掘など、平時から地域コミュニティ構築に向けた取組を行っています。社協の活動によって生まれた「地域のつながり(共助)」は、万が一の時に大きな力となるのです。



● 川崎市社協ボランティアバスの歴史



2011年東日本大震災
(岩手県釜石市)

大地震、水害の被害を受けた岩手県、茨城県にもボランティアバスを計7回運行。



2017年常総市洪水災害
(茨城県常総市)

これまでに
320名の市民が
参加!

活動レポート

被災地を知り、防災をまなぶ 能登で過ごした3日間

ボランティアバスの活動日程は2泊3日。
学生たちは、能登で何を見て、何を感じたのでしょうか?



1日目 被災地視察



家屋の倒壊や火災が起きた輪島エリアを訪問。被害の大きさを目の当たりにし、ショックを隠しきれません。



田中 杏奈さん
(高3)

TVやSNSを通してではなく、崩れ落ちた建物を実際に自分の目に映すと、言葉が出ないほど胸が痛みました。

1日目 講演会・交流会

地元公民館の館長が発災当時の状況や現在の被災地の課題について講演。金沢大学等の学生も合流して、同世代の視点で見た震災のようすを語ってくれました。



「“知ること”が支援につながる」という現地の方の言葉が印象的でした。遠く離れていても、被災地の苦しみや困難に寄り添ってみたいです。



黒木 葵さん
(高2)

2日目PM 「あそび場」開催!

能登在住の子どもたち約70名があそび場に参加。お兄さんお姉さんと一緒に夏まつりを満喫してくれました!



横井 凜さん
(大3)

「あそび」を提供することも復興支援の一部。身近な行動で被災地を支えられると知り、ボランティアの概念が大きく変わりました!

子どもたちの笑顔を見ることができて大成功! 「あそび」は児童の心身のケアにつながるとても重要な活動だと実感しました。



田中 潤さん
(高3)

2日目AM あそび場づくり

今回の「あそび場」のテーマは「夏まつり」! 子どもたちに楽しんでもらえるよう、準備に余念がありません。大学生は七尾市内の保育園で、あそび場を提供しました。



3日目 ふり返りの会

活動後はふり返りの時間。3日間で気づいたこと・感じたことをシェアし、考えを深めました。



発災時は一人ひとりが自分ができることを考え行動することが大事。未成年のうちは何もできないと諦めるのではなく、学生だからこそできるサポートもあると知りました。



栞原 有希さん
(高2)

社協から
メッセージ

考えよう、自分のまちの防災

自分の住むまちづくりの主人公は、そのまちに住む一人ひとり。特にこれからの地域を担う若い世代の方には、多くの経験から学びを得て、災害に強い素敵な地域を作ってほしいと思います。私たち社協はそのような機会をこれからも提供していきます。



企画調整室
平林 秀敏 室長

社協では、毎年夏休みに学生を対象とした「チャレンジボランティア」を実施しています。ぜひ次回参加してください。

公式LINEアカウントで
ボランティア情報発信中!



2007年からのべ
4200名が参加

じぶんのまちを良くするために皆さんのご協力をお願いします

赤い羽根共同募金がはじまりました!

1947年に誕生した赤い羽根共同募金。皆さまから寄せられたお金は、行政の手が届かない小さな「困ったこと」のために使われています。「このまちを良くしたい」そんな気持ちが詰まった赤い羽根の支え合いに、あなたのチカラを貸してください。

●共同募金の仕組み



町内会・自治会に協力をいただいています

町内会・自治会の活動にご理解とご協力をお願いします!

町内会・自治会は「安全で安心できる住みよいまちづくり」を目指し、防災や福祉、美化活動や、お祭り、運動会などのレクリエーション活動を行っています。人と人のつながりを大事にし、地域で支え合う社会をつくっていくためにも町内会・自治会への加入をお願いします。



神奈川県限定!

募金協力でご当地グッズをGETしよう

500円以上の募金協力で、J1・川崎フロンターレや野毛山動物園とコラボしたオリジナルグッズをお渡しします!

※数に限りあり

●取り扱い場所などお問合せは…
神奈川県共同募金会 川崎市支会連合会
TEL: 044-739-8716



ふくしのINFORMATION

福祉に関するイベントやお役立ち情報をお届け

EVENT 想いをつなげ! 子どもたちの未来に向けて

10/20 開催! 子ども虐待防止 オレンジリボンたすきリレー

子どもたちの明るい未来と虐待防止の象徴・オレンジリボン。このリボンをたすきに仕立て、児童福祉にかかわる約100人のランナーが川崎市内をリレー形式で走ります。



ルートや時間の詳細はこちらから



私も参加します!

児童虐待を無くしたいという共通の想いを胸に心のタスキをつなぎ、オレンジリボン運動をひろめるため初めて走らせていただきます。



「知ること」で救える親子がいます!
「ひとりじゃないよ、ひとりにしないよ」
ひとりで頑張りすぎない子育てを!



オレンジリボン運動では、市内各地のイベント会場や駅前などで子育て支援、虐待防止を呼びかけます。川崎フロンターレやNECレッドロケッツの選手もこの活動を応援しています。

BOOK 地域福祉情報バンクのおすすめ図書!

吃音特集はこちら →



夢に挑戦する若者を応援 ~吃音についての正しい理解を~

「注文に時間がかかるカフェ」とは、吃音(話し言葉が滑らかに出不い発話障害)によって接客のアルバイトを諦めてきた学生たちによる期間限定のカフェ。このカフェの発起人で、吃音当事者でもある奥村安莉沙さんは、吃音に悩む学生たちに「接客体

験を通して自信をつけてもらいたい」と、このカフェを始めました。言葉がうまく出なくても、接客にチャレンジすることで自分の殻を破ろうとする学生たちと、それを支える奥村さんの日々に密着したノンフィクション。読み終えた後に、吃音に対する正しい理解が広まることを願わずにはられない、そんな一冊です。



注文に時間がかかるカフェ
たとえば「あ行」が苦手な君に
著者: 大平一枝
出版社: ポプラ社/
2024年発行

地域福祉情報バンクで貸出しています (エブックなかはら6階)

蔵書検索は「ふくみみ」で!



TEL: 044-739-8720 MAIL: jyoho@csw-kawasaki.or.jp

あなたの「想い」は、あなたの「まち」に届いています!

共同募金の使いみち

ありがとうございます! 子ども、高齢者、障がいのある人のサポート活動や被災地支援など、まちのさまざまな福祉活動へ寄付金が配分されています。

PICK UP!!

青少年への福祉教育×被災地支援

能登半島ボランティアバス(P2~3)にも共同募金の寄付金が使われました。被災地を支えると同時に、学生たちの学びの場を提供しています。



子育てを応援する活動に!



子育てサロンの開催

高齢者のいきがいに!



健康体操の開催

住民の憩いの場に!



多世代交流の居場所づくり

ボランティアを身近に!



ボランティア講座の開催

誰もが安心できる場に!



認知症カフェの開催

共同募金の使いみち、他にもたくさん!

赤い羽根データベース「はねっと」はねっと 検索
共同募金の使いみちは市町村ごとにデータベース化し、公開されています。



STUDY 福祉の世界で働きたい!

これで安心! まるごとわかる介護基礎研修
(無資格で就労する方には必須となる「認知症介護基礎研修」込み)

無資格・未経験で介護職を目指す方、介護現場で働く無資格者の方、基礎から学びたい方へ。接客マナー、口腔ケア、レクリエーション、移動・移乗技術など、実践に役立つ基礎知識・基本技術の研修を一般・実技・選択の全3コース開講します。



- 日程: 令和6年11月1日(金)~12月12日(木)
※コースにより実施期間が異なります(2~7日間)
- 会場: 総合研修センター (川崎駅徒歩15分)
- 定員: 3コース合計で18名 (先着順)
- 対象: 市内介護福祉施設等に就労中の方
今後、就労予定の方
- 受講料: 9千円~3万円 (テキスト代別)
- 申込み: 総合研修センターHP (※切: 各コース開始日の2週間前)
- 問合せ: 総合研修センター TEL 044-223-6509 (火~土 8:30~17:00)

研修詳細・申込みフォーム



SUPPORT 充実した人生づくりに向けて

終活セミナー 遺言と死後事務 ~遺言のできることでできないこと~

人生の最期に向けて行う事前準備・終活。シニア世代が気になる「終活」に関するセミナーを開催します。

- 日時・場所
① 令和6年11月26日(火) 14時~ ミューザ川崎
② 令和6年11月27日(水) 14時~ てくのかわさき



- 定員: 各80名
- 申込み: FAX、郵送、来所など



詳細は川崎市あんしんセンターHPをご覧ください

- 問合せ: 終活支援担当 TEL: 044-712-3372



セミナー「エンディングノートと埋葬」
各区の老人福祉センターでは「エンディングノート」「埋葬」をテーマにセミナーを開催します。日程等の詳細はHPから。



終活のこと、もっと知りたいあなたに!
未来あんしんサポート事業

地域に根ざした社協ならではの手法で、終活をサポートする「未来あんしんサポート事業」。利用者から預託金を預かり、生前の見守り、入所・入院支援、逝去後の葬儀・埋葬、遺言執行などを行います。

※利用には市内在住・原則65才以上など条件あり

詳しくはこちら



社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

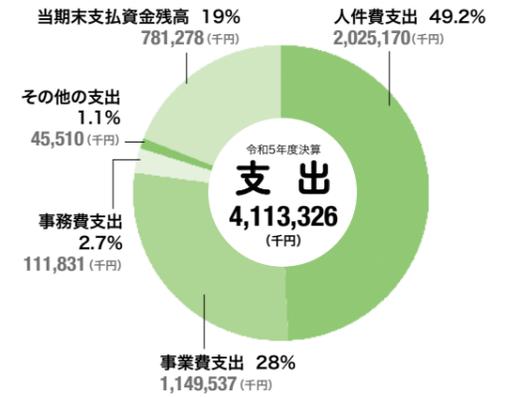
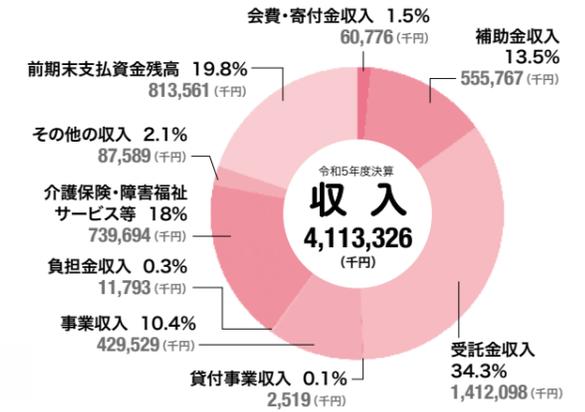
令和5年度 事業報告・決算

ご報告します

基本方針

令和5年度は、終わりの見えない物価高騰や大地震の発生などにより地域における生活課題や福祉ニーズがさらに多様化、複雑化、深刻化した1年間でした。住民だれもが自ら望む場所や住み慣れたまちで安心して暮らし続けるための「地域づくり」「包括的支援」が早急に求められています。

川崎市社協では、行政との協働を軸に、町会や地区社協など多くの住民と意見交換を重ね、より住民目線に立った福祉活動を推進してきました。また、地元企業であるNECとパートナーシップ協定を締結するなど、さまざまな角度から「地域包括ケアシステムの構築」に向けた事業を展開しています。



重点事業のふり返り

1 地域包括ケアシステムの推進

社協が持つネットワークを活用し、地域住民、関係機関、企業のコーディネートを行い、住民主体による生活課題解決の取組みを支援しました。

たとえばこんなこと 「みんなのごはん」の開催及び立ち上げ支援 (要支援家庭見守り体制強化事業)

食糧配布を通じて地域の子どもと大人が出会い、交流をする場づくりを目的に開催しています。



→8団体 延1383名参加

2 組織経営基盤の強化

すべての事業・予算の精査と財源確保、人材育成計画の推進、効率的な組織運営などに取組みました。

たとえばこんなこと

老人福祉センター7施設・老人いこいの家48施設の運営

高齢者の生きがいをサポートする地域施設の指定管理者を担っています。

詳しくはこちら

老人福祉センター



老人いこいの家



3 生活困窮者への支援

生活福祉資金特例貸付の借受者のうち、生活困窮が継続している方々に対し、専門機関との連携のもと、訪問等により生活再建を図る支援を行いました。



→支援件数・867件 相談対応・2834回

4 地域防災力の向上

将来想定される大規模災害にそなえ、災害ボランティアセンター運営訓練や市民向け講座を開催。また、地震被害を受けた他都市の被災地へ職員を派遣しました。

たとえばこんなこと 令和6年能登半島地震支援

災害ボランティアセンターの運営支援を行うため、石川県へ15名の職員を派遣。(令和6年9月現在)



急募!!

信頼と実績の社協で仕事をしませんか?



介護支援専門員

大募集!!

市内2つの事業所で募集中です! /

介護支援専門員

- かわさき訪問介護支援事業所 (川崎区富士見)
- たま・あさお訪問介護支援事業所 (多摩区登戸)

川崎市社協は「あなた」をお待ちしています



給与や待遇面など詳しくはHPをチェック

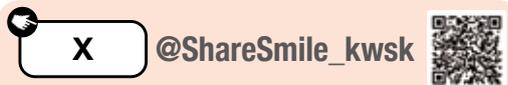


お問い合わせはお気軽に! 介護支援課 044-739-8712

公式SNSの登録をお願いします!

イベント、ボランティア、災害に関する最新情報などをいち早くお届けします。

最新情報を発信中!



寄付御礼 (令和6年6月1日~8月31日受領分)

〇川崎市社会福祉協議会の地域福祉活動へのご寄付

川崎フィルハーモニー管弦楽団 様

株式会社ナクール 様

セレサ川崎農業協同組合 様

株式会社大塚商会 様

一般社団法人神奈川県タクシー協会 様

〇その他(オレンジリボン運動の活動)へのご寄付

JAセレサ川崎 組合員対策室 様



社協支援者様の声を聞きました

株式会社ナクール

“洋服ポスト”で社協の活動をサポート!

武蔵小杉のセレクトショップ「ナクール」では、自宅に眠るまだ着られる衣類を集め、その重量に応じた金額を社協へ寄付しています。寄付金は、市内の社会福祉活動へと役立てられています。



ポスト設置・回収品目はお店のHPをチェック!



ナクール

中原区小杉町3-6-1
武蔵小杉法政通り商店街内

今回は10月19日(土)
10:00~14:00
開催予定



川崎市福祉人材バンク 令和6年度地域課題研修



講師プロフィール
飲酒運転防止インストラクター/依存症予防教育アドバイザー/メンタル心理カウンセラー

山口達也さんによる
アルコール
依存症と
共に生きる

~人生をあきらめない~

2024年12月6日(金)
13:30~15:30

場所:エポックなかはら
南武線「武蔵中原」駅直結

無料

山口達也さんに、アルコール依存症について当事者にしかわからない視点でご講演いただきます。依存症に至った経緯や苦しみ、そしてそこからの回復への道程、家族とのかかわり、様々な経験を経た現在の山口達也さんから前向きに生きる勇気を受け取ってください。

定員160名

(定員を超えた場合は抽選)

川崎市内在住・在勤・在学の方

●申込〆切: 11月5日(火) 10:00

●問合せ: 福祉人材バンク

TEL: 044-739-8726

申込・詳細は
ホームページ
から ▶▶▶



※ホームページからの申込みが難しい場合はご連絡ください。

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

住所: 川崎市中原区小田中6-22-5 TEL: 044-739-8710 (代) FAX: 044-739-8737

E-MAIL: info@csw-kawasaki.or.jp HP: https://www.csw-kawasaki.or.jp/

広報誌「川崎の社会福祉」へ掲載する広告を募集しています。詳細はお問い合わせください。

この広報誌は一部共同募金の配分金で発行されています。

編集・発行

